



2026年4月活動報告



第11回兵庫・丹波篠山国際とっておきの音楽祭



畝傍南小学校

今月 BARRIER CRASHを届けた人数

930名 (延べ人数)

勝福寺花まつり



サイレントツアー第4弾



第1回oioiメンバーとPCAグループ



今月のピックアップイベントは次のページから▼



関西テレビ 新入社員研修

関西テレビ放送株式会社様の、未来を担う新入社員のみなさんへダイバーシティ研修の講師を務めさせていただきました。



<プログラム>

- | | |
|------------|--|
| ①導入 | 目的共有・アイスブレイク |
| ②聴覚障害の基礎理解 | 伝音難聴/感音難聴について
聴覚障害者の多様性（コミュニケーション方法も様々） |
| ③職場課題と改善策 | 会議・社内連携・アナウンス・よくある誤解 など |
| ④表現ワーク | 視覚的表現の重要性（ジェスチャー・表情） |
| ⑤手話ワーク | 日常生活で使える簡単な手話 |
| ⑥まとめ | 今後の仕事・日常生活への落とし込み |



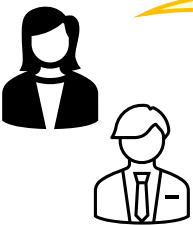
90分

■新入社員の声

楽しく学ぶ中で、自分の“知っているつもり”に気づき、相手に合った伝え方を考えるきっかけになった

■新入社員の声

手話は難しいものではなく、伝えようとする気持ちと工夫がコミュニケーションの第一歩になると感じました。



■主催者の声

堅い内容を想像して身構えていたけど全然違った。楽しくて面白くて、学びがある。まさに圧巻の研修でした。

参加者の中には、将来番組制作に携わる方々も多くいらっしゃいました。
今回の体験が、社内のコミュニケーション向上や
数年後の“誰かに伝わる番組づくり”に繋がれば幸いです。


■今回の研修の様子は、5月17日(日)のカンテレ通信(TV)でも紹介されました

広島県隣保館連絡協議会研修 ～“きこえない”は他人事じゃない～

広島県内の人権担当者向け研修にて、講師を務めさせていただきました。



<プログラム>

- | | | |
|------------|--|--|
| ①導入 | 目的共有・アイスブレイク | 
90分 |
| ②聴覚障害の基礎理解 | 伝音難聴／感音難聴について
聴覚障害者の多様性（コミュニケーション方法も様々） | |
| ③WHOの警告 | “きこえない”は他人事じゃない | |
| ④表現ワーク | 視覚的表現の重要性（ジェスチャー・表情） | |
| ⑤手話ワーク | 日常生活で使える簡単な手話 | |
| ⑥まとめ | 今後の日常生活への落とし込み | |

■参加者の声

昔、手話を勉強したことはあって、その時は難しいと思っていたが、今回とても楽しくて「もっとやりたい!」と思いました!

研修後には、講師（聴覚障害者）に対しボディーランゲージを交えたりゆっくり分かりやすい口調で話すなど、早速、参加者のコミュニケーションに変化が表れているのを感じられました!



■参加者の声

子どもたちにも伝えたい!
ぜひ学校にも来てください!

■参加者の声

こんなに楽しく、こんなにたくさんの手話を覚えたことは今までありませんでした!
本当に目から鱗がポロポロです!

ONLINE手話講座 ENJOY & STUDY

～きこえない人と病院編～

大好評



過去の受講生を対象に、初の単発講座を開催しました。
今回のテーマは最もご要望が多かった「医療」。
医療関係者を中心に多くの方にご参加いただきました。
医療現場のコミュニケーション向上に繋がれば幸いです。

【受講生の感想】

- 手話表現だけでなく、きこえない人が病院で感じる不安を具体的に学びました。
- 「事前に流れを伝える」ことの大切さを知り、すぐ実践したいと思いました。
- 病院での何気ない対応が、聞こえない人の安心につながることを実感しました。
- 手話にこだわりすぎず、相手に伝わる方法を工夫する大切さを学びました。
- 医療現場での困りごとを具体的に知り、自分にできる配慮が見えてきました。
- 当事者の声を聞いたことで、これまで気づけなかった不安や困難に目を向けられ、自分ごととして考えられました。
- 楽しく学びながら、病院を安心できる場所にするヒントを得られました。

本講座に関するレポートと
体験談マンガを掲載しています。
ぜひご覧ください！



- ▶ レポート：[聴覚障害者が病院で困ること](#)
- ▶ 体験談マンガ：[聴覚障害者が手術中に困った話](#)

聞こえない僕の体験談

- 大阪在住Nさん
- 先天性感音難聴
- 補聴器は右耳だけ着用
- 普段は手話と口唇を併せてコミュニケーションをとっている
- 口唇の場合は相手の口を
読み取りながら推測している



今月のBARRIER CRASH

特別な技術より、相手を想う力

4月5日(土)、兵庫県川西市にある勝福寺というお寺で開催された「花まつり」で手話ワークショップをさせていただいた時の話です。普段、聴覚障害者と接したことが無いという担当者の方が、私たちのためにこんなことをしてくださりました。



- 一夜漬けで覚えた手話を積極的に使いながら、大きくハッキリ分かりやすい口調で話をする。
- 当日の流れをまとめた資料を手書きで用意。
- 「ちかいのことば」を唱和する時にどこを読むか分かるように文字を指さしで示す。
- 集合写真の際にシャッタータイミングが分かるように「3、2、1・・・」と視覚的に分かるサインを出す。

など、聴覚障害者に分かりやすい配慮が充実していたため、イベントの参加メンバーがとても感動していました。

正直、ここまで対応していただけることは「ごく稀」です。

「どうしてそんなことができるんですか？」ときいたところ、「こうした方が分かりやすいかな？って思っただけです😊」と、にっこり優しい笑顔で話してくださりました。

こうした配慮というのは特別な技術が無くてもできることで、「相手を想像する力」があれば、できることなのだなと思いました。

これぞまさにバリアクラッシュ！ありがとうございました！

＼ 継続寄付支援者向けの配信LIVEで寄せられた質問にお答えします！

どんなメンバーがいるんですか？

oioiには、聴覚障害者・聴者・手話学習者など、
さまざまなメンバーが関わっています。

手話の経験に関わらず、あなたの得意が活かせる場があります。
「少し気になる」「自分にもできることがあるかも」
そんな方は、下記QRコードからホームページをのぞいてみてください。



パフォーマー
(ワークショップの講師・アシスタント)

撮影

サイン役

メイク



情報保障

小道具制作

イラスト

ホームページ

ドライバー

等

あなたの力をBARRIER CRASHに
メンバー募集中！

メンバー
紹介ページ

